学内ギャラリー 6月 7月

本学 美術科の学生による作品を展示

松尾悠未展～白昼夢～
7月18日～25日

専攻科造形専攻2年
松尾悠未
芸文短大での3年間で描いたアクリル画、油画の一部を展示。

卒業修了収蔵作品展
7月13日～17日

美術科卒業制作・専攻科修了制作展 作品
「第51回美術科卒業（専攻科修了）制作展」から選ばれた優秀作品を展示。

竹の造形習作展
7月5日～12日

美術科デザイン専攻1年
Aクラス
【彫刻演習】で、竹を素材とした授業を行った際の造形作品を展示。

創造的タイプライター展
6月24日～7月4日

専攻科造形専攻2年
鶴羽望、中尾良多、宮原莉沙、渡邊陽奈子
専攻科造形専攻1年
川野史織、小﨑祐維
首藤紗映香

19展
6月7日～22日

美術科デザイン専攻
メディアデザイン
（旧テキスタイル）2年
伊藤寿章、香川綾子
工藤美穂、中島大樹、東道佳
松尾小百合、森崎裕貴

人型展
5月27日～6月2日

美術科美術専攻2年
福丸竜矢
「人間の内面とエネルギー」をテーマに制作した作品が並びました。

学友会情報

10月は学友会が一丸となって企画・運営を行う"芸短フェスタ"が開催されます！今年も、ファッションショーや軽音ライブ、サークル・ゼミによる模擬店、ステージといった様々なイベントを予定しています。ただいま準備真っただ中！みなさんに楽しんでもらえるよう、盛り上げていきます！

日々是精進

学生のアイデア溢れる作品が賞を受賞。商品化されたものも！

「FORUS Tシャツデザインコンテスト」グランプリ受賞

一般の方たちを対象に人気投票を行う毎年恒例のコンテストで、美術科ビジュアルデザイン2年の池永舞さんのデザインがグランプリに輝きました。今年のテーマは"アジア"。池永さんの作品は、「目を引く色合いが印象的」「作品に対する気持ちと"アジア"というテーマがリンクしている」といった講評を得ていました。

「JFN学生ラジオCMコンテスト」全国入賞

全国の学生が、趣向を凝らした個性的な作品で自らの学び舎をPRする「JFN学生ラジオCMコンテスト」で、情報コミュニケーション学科1年 工藤明日香さんの作品がブロック賞を受賞しました。工藤さんの作品はエフエム大分で2週間にわたり放送されました。

人気の"焼肉のたれ"ラベルデザインを担当

豊後大野市清川にある「お食事処 鈴らん」が、"焼肉のたれ"を販売することとなり、そのラベルデザインを本学美術科が担当。全24のデザイン案から「鈴らん」代表の鞭目欄市さんをはじめ、デザイナーの方、本学教員らが審査を行い、最優秀賞にビジュアルデザイン2年の丸山愛さんが、優秀賞にはビジュアルデザイン2年の西本美穂さんと専攻科造形専攻ビジュアルデザイン1年の首藤紗映香さんが選ばれました。最優秀賞に選ばれた丸山さんの作品は、店頭やオンラインショップなどで販売される"焼肉のたれ"のラベルデザインとして使用されます。

表紙の顔

本広報誌の表紙モデルは、各学科から"頑張っている学生さん"に登場してもらっています。今回の表紙モデルは、情報コミュニケーション学科2年生の堤友香さん、倉重仁美さん、古田葉月さん、姫野真未さんです。就職活動をする傍ら、資格取得やサークル活動にも全力投球するパワー溢れるみなさんでした。この日の撮影は、狩谷ゼミでの一コマ。数十台のカメラを並べ"マトリックス"のような映像を制作するという、ユニークな授業を行っていました。

学長コラム

芸短フェスタに寄せて

中山 欽吾
似顔絵：学長秘書 佐々木優季

8回目の芸短フェスタが始まります。毎年恒例となったこの行事、ますます賑やかで魅力溢れるプログラムが並びました。今年の二つの特徴は、本学の学生たちの活動分野が広がり続けている事が実感できる内容になったことです。

今、本学にとって大きな可能性が広がりつつあります。―iichiko総合文化センターの隣に建設工事が始まった県立美術館と合わせて、二つの文化施設を一体管理する大分県芸術文化ゾーンが発足、本学の芸術系の学生が全面的な連携を取ることになり、駅南に完成したホルトホールとも、今後密接な連携を取っていくことが決まっています。またホルトホールにスタジオを構えた大分ケーブルテレコムとも、相互協力協定が結ばれましたので、様々なシーンで学生たちの活躍が期待されているのです。

情報コミュニケーション学科で始まった地域社会特講・サービスラーニングは、今や他学科でも地域巡回演奏会やふれあいアート講座など地域の人たちとの交流や街中でのボランティアなど、社会活動を通じて"学校の外で学べる"活動範囲が広がりを見せています。専門分野での社会に直結した活動は、短大の枠を超えるものとして期待は大きいものがあります。私も時々学外活動に参加しますが、学生たちのキラキラした笑顔（講義の時とは違った？）は、活動の意義をはっきりと感じさせてくれるのです。

机上だけで学んだ知識だけでなく、こういった活動の数々が、"芸短フェスタ"という一つの大きなイベントを動かしていく原動力となっていると思いますので、ぜひ注目して頂きたいです。

竹田キャンパス通信

※竹田キャンパスは、廃校となっていた下竹田小学校（竹田市直入町）を利用して、地域と密着したさまざまなアート活動を行っています。

この記事を書いてる現在は夏真っ盛りで、この竹田の涼しさに慣れてしまったため、最近は大分市内に降りるのも、少々おっくうになります。と、時季外れの話題はさておき。

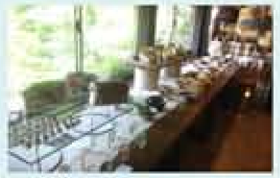
現在、竹田キャンパスとして各地のイベントに出店、参加しています。各イベントの違いはありますが、地域によって作品の見方、好みも変わり、なかなか面白いものです。価値観、好みは人それぞれですし、作品制作の上で戸惑うこともありますが、何度も足を運んで下さる方もいて、そういった経験が今後の作品制作の糧となります。

作品を制作、展示、意見をもらう、一連の大事な流れです。芸術の秋、皆さんの素敵な作品が生まれてくるのを楽しみにしております。

（美術科非常勤講師　前田亮二）

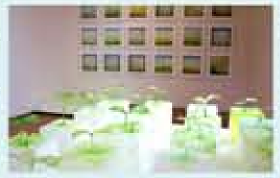
サークルideal地域交流会

本学クリエイティブサークルidealの学生が竹田キャンパスを訪れ、自分達の理想とその地域に住む人達の理想についての意見交換会を開催。新たな地域交流に繋がる、有意義な時間となりました。



竹田キャンパスクラフト3人展

熊本市にある「ダイニングaraki」にて前田亮二、かいゆき、小川陽子によるクラフト3人展を開催。陶芸、染色雑貨、小作品を展示・販売しました。期間中には"陶器ボタン作り"のワークショップも行いました。



前田亮二染色展～シンリョク～

前田亮二講師が個展を開催。ティッシュを染めて固めたオブジェや薄い布を染めて何層かにした半立体の壁掛け作品、廃材となった部品をロボットに見立てて樹脂で固めた置物などを展示・販売しました。

うみたまごDe遊BIYON

「うみたまご」の芝生広場で開催されたイベント「うみたまごDe遊BIYON」のフリーマーケットに参加しました。陶器・染色小物など手作り作品を展示販売、海風の気持ち良い、まったりとしたイベントでした。

竹田市宿泊体験合宿ワークショップ

竹田市の小学5年生を対象とした宿泊体験で、キャンドル制作のワークショップを開催しました。子どもたちは思い思いの絵を描きキャンドルを制作、アイデア溢れる個性的なキャンドルが完成しました。

今後のイベント予定 ●「直入公民館 作品展」9月 ●「第4回 美晴が丘秋祭りワークショップ」10月13日 ●「第8回 竹田キャンパス地域交流会」12月

サービスラーニング報告

「大学で学んだことを地域で活かし、地域で活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスラーニング。"単なるボランティア"では終わらない、自主性・論理性・協調性のある"社会人力"を育成するプログラムを組んでいます。左記のほかにも様々な活動を行っています。詳細は、情報コミュニケーション学科HPをご覧下さい。

「地球の小っちゃな田の口の田植え」に参加

「楽しみながら地域を盛り上げよう!」と"むらおこし"を行う田の口地区で、地域の方たちや幼稚園生と田植えをしました。

「Aqua Social Fes!! 大分の川、海をピカピカにしよう」に参加

別府市の冷川と河口付近の関の江海水浴場を清掃した後、ほたるの学習会、かわになの放流、ほたる鑑賞会を楽しみました。

「竹田八幡山横丁溝さらい」に参加

八幡山横丁付近の水路清掃に参加。軽トラック5台分の泥を除去、地元消防団の協力のもと、放水で道路と溝をきれいにしました。

「鶴崎清正公二十三夜祭」に参加

国道一番の運営やゴミ回収エコステーション、ワークショップ等で毎年スタッフとして参加しています。今年は特設ステージの運営も行いました。

「岡城歴史まちづくりの会ミーティング」参加

「岡城歴史まちづくりの会」（7月設立）に向けての活動に参加。岡城址清掃や歴史学習会を行い、滝廉太郎の歌を歌って交流しました。

「たけた食育ツーリズム研修」を実施

竹田の食育によるむらおこしを体験して、住民と学生が協力して地域活性化をさぐる活動。この活動は今年で5年目となります。